



さん さん
燦 燦

佐世保市立清水中学校
 学校だより24号
 令和4年12月23日
 校長 榑尾 吉嗣

学校教育目標：「明るく、自ら求めて伸びる生徒の育成」
 校訓：凜と在れ 生徒会スローガン：「全力」

年が変わる節目（冬休み）をどう過ごすか

今日は2学期の終業式でした。昨年度までは後期前半という呼び方で一区切りをつけ冬休みを迎えていましたが、今年は終業式も行い通知表も渡します。1学期同様隅々まで目を通し、自宅に帰ったら2学期を、または令和4年を振り返ってください。良かったことはぜひ**継続**し、足りなかったり間違ったりしたことは**改める**。10日もせずに**新年**を迎えます。令和5年を迎えるにあたって、ぜひ**「目標」**を立ててください。目指すべきものがあると、人は励みにもなり**頑張り**もききます。年が変わるといのは**「何かを始める、人が変わる」**の非常にいいきっかけです。この大きな**「節目（区切り）」**を経て、我々もさらなる成長を目指したいものです。



健全育成会製作の門松です

しばらくは学校から離れた生活になります。人の行き来も増え交流も多い年末年始になると思いますが、1月10日（火）には元気な顔が揃う。これが私の一番の願いです。

《冬休み（17日間）を有意義に過ごし、新たな気持ちで3学期を迎えるためのお願い！》

★規則正しい生活を送る（学校があつてる時と同じ起床、就寝時間）

★249人で冬休みに入ります。249人で3学期をスタートします。（誰一人欠けることなく）

校内掲示板より

三年生へ
 「十五歳が性格や生き方が変わる最後の年齢である」という
 この言葉は衝撃的である
 今まで苦痛であった学習が
 何となく楽しくなったり
 清掃にもやりがいを感じてきたり
 友人についてゆとりを持って考えられたしたり
 色々あるだろうが確かに十五歳の体験は
 その後の人生を方向付けるかもしれない
 それは単に成績がどうかこうとかい
 ケチなものでなく
 ひたすら物事に熱い心でぶつかり
 生命を燃焼させてゆく体験が
 この後の人生を彩るということであ
 るのか
 この言葉には重い真実がある

以前の学校だよりにも載せましたが、私たちが学ぶ場は校内のいろいろな場所に溢れています。美術作品、体育の授業（写真）の掲示、人権に関する本の展示などなど。

標語、メッセージから勇気や励ましをもらい、自分自身を奮い立たせてくれることもあります。日常の生活に目を移しても、ぼんやりと見ているCMにいたく感動したり、共感を覚えたり。受験シーズンになると流れてくる某バランス栄養食品のCMは、思わず見入ってしまい、それと同時に身近な3年生たちのことを思い浮かべながら心の中でエールを送っています。またその時に流れるBGMが、力を出したい時自然に口ずさみ、自分への応援歌にもなっています。

常に、周りには応援してくれる人がいて、支えてくれる仲間がいる。毎日の様々な出来事の実験はこれから先の道しるべとなるはずですが、何よりも健康第一で一歩ずつ踏みしめて歩いていきましょう！

保護者の皆様、1年間本当にお世話になりました。引き続き来年もよろしくお願ひいたします。良いお年をお迎えください

鮮明な画像等は、ホームページをご覧ください。